

発行

長野県
美術教育研究会
印刷
カシヨ株式会社
長野市西和田1-27-9
TEL026-251-0510

長野県美術教育研究会会報

第118号

発行人

徳高博樹(城山小)
事務局
青木香織(川中島中)
編集人
原山裕司(長野ろう学校)

一人の子どもも取り残さない覚悟をもつ ～現在 美術教育で子ども主体の新たな未来を創る～

長野県美術教育研究会 会長 徳高 博樹 (城山小学校)

一人の子どもも取り残さない覚悟をもつ
常に信念と愛情と情熱の大切さを意識しながら
夢や理想を語り合う人となる
子どもを信じ
子どもも大人も夢や希望をもち 未来の想像を楽しむ

子ども主体の美術教育の追求を通して
新たな未来を創る それが現在

長野県美術教育研究会会長に就任しました徳高博樹です。美術教育を通して、「すべての子どもが幸せを実感できる」教科の具体に向け、取り組んでまいりたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

はじめに、今から50年程前、「どんな子も捨てない教育」を旗印に学校運営を推し進めた学校が存在していたことを紹介させていただきます。篠ノ井旭高校の校長として学校運営を担っていたのが若林繁太先生です。この実践は著書「教育は死なず」[1981年(昭和56年)]で発表されベストセラーとなり、映画化もされ、教育のあり方を全国に問いかけた話題作となりました。当時全国で校内暴力が多発し教育のあり方が問われた時代の実践です。生徒指導上の理由で地元の高校から受け入れを拒否された生徒を、制限を設けずに全国から積極的に受け入れる…「非行ゼロ、退学ゼロ」の人間教育を実践…。

なぜこのような究極の対応を旗印に掲げることができたのか?…。

第4次長野県教育振興基本計画の目指す姿「個人と社会のウェルビーイングの実現～一人ひとりの『好き』や『楽しい』、『なぜ』をとことん追求できる『探究県』長野の学び～」と、令和5年度教育課程・学習指導改善の目標「一人の子どもも取り残されない『多様性を包み込む』学びの推進」が発表された時、私の中で若林繁太先生の実践とつながりました。

私は、「一人の子どもも取り残さない覚悟をもつ」の具体に迫る大きなヒントが若林繁太先生の実践にあると考えています。自分の夢や希望、思い描く未来の姿などを自由に表現できる美術教育の魅力、楽しさやおもしろさを味わいながらとことん追求できる美術教育の可能性を若林繁太先生の実践とつなげながら、私たちの美術教育に対する「覚悟」について問い続けていきたいと考えています。

世界に目を向けると、グローバル化や急速な情報化、技術革新、さらにはウクライナ問題、ミャンマー、スーダン等の内戦問題、新型コロナウイルス感染症感染拡大等、一国や一部の国々では解決することができない難題を数多く抱えています。未来を生きる子どもたちには、社会の変化を見据えながら、あらゆる状況や問

題に対応できる力が求められています。国内では、多発する自然災害への対応、福島原発処理問題、迫り来る巨大地震への対策等、みんなでアイデアを出し合いながら新たな解決策を生み出す手段の創出が不可欠な状況です。

教育に携わる私たちが向かうべき目標は明確になっています。その本質にどれだけ迫ることができるかは、私たちの「一人の子どもも取り残さない覚悟」で決まります。子どもたちの興味や関心が高い美術教育に携わる私たちの重責を感じています。

この3年間、新型コロナウイルス感染症感染拡大により世界中のあらゆる活動が制限されてきました。そのような中、本会は昨年度ハイブリッド方式による第74回全国造形教育研究大会長野大会・第76回長野県美術教育研究大会北信ブロック大会を開催しました。北海道から沖縄までの全国各地、台湾から300名を超える参加がありました。大会関係者によるとこの3年間、全国大会、関東ブロック等のエリア大会の全てが計画段階で開催を見合わせ、辛うじて実施に至ってもオンライン開催のみだったそうです。全国各地で参集型の大会開催を躊躇している中、前会長村松哲史先生のご英断のもと、本会の理念に共感してくださった、善光寺、善光寺保育園、長野県立美術館、長野清泉女学院中学校、長野市立長野中学校・長野高等学校等の地域の皆様、県内外の企業の皆様、長野市教育委員会、長野上水内教育会、長野上水内校長会等のご理解ご支援をいただき、ハイブリッド方式の大会を開催することができました。まさに本会が具体で示した「一人の子どもも取り残さない覚悟をもつ」そのものだったと考えています。

本会ではさらに新たな可能性を追求してまいります。新たな研究会や研修会等を積極的に取り入れながら、多くの皆様の声に耳を傾けながら、私たち自身が「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる、探究の場になることを目指して取り組んでまいります。また、長野県美術教育研究会と連携・協働したいと願う様々な分野の仲間を増やしていきたいと考えています。

今年度11月10日に開催される第77回長野県美術教育研究大会中信ブロック大会では、木曾支部・塩筑支部・中信ブロックの皆様には大変お世話になります。

本会の運営に際し、皆様のご理解とご協力ご支援を心よりよろしくお願いいたします。

長野県美術教育研究会HPでは、研究会・研修会の計画等や、会長の願いの具体などを配信してまいります。また、昨年度実施された第74回全国造形教育研究大会長野大会・第76回長野県美術教育研究大会北信ブロック大会の報告も掲載されています。どうぞご覧ください。

長野県美術教育研究会 全県研究テーマ

私っていいね! ~つくり出す形・色、ひびき合う感性、今を生きる私たち~

長野県美術教育研究会は、77年の長きにわたり美術教育の充実を希求し、数多くの実践と成果を残してきた。その研究の歩みを辿るべく、過去の大会テーマを紐解いてみた。全造連大会の大会主題は、昭和33年度「図画工作の本質を検討し今後の対策を立てる」(長野市)、昭和59年度「心おどらせてとりくむ造形」(更埴市)、平成7年度「いのちにふれる造形活動-つくるよろこび自分らしさの表現を求めて-」(下伊那)、平成18年度「私っていいな! “いろ・かたち” 生きあい学びあい」(長野市) のように変化してきた。

そして、全人教育の充実のために美術教育が果たす役割を全会員が再認識し、その実践に当たっては、指針となる全県テーマを掲げて歩むことが必要だという願いのもと、平成23年度からは長野県美術教育研究会の全県研究テーマ「ひびき合う感性「私っていいな!」楽しく“子どもアート”」が設定され、昨年度までの11年間に渡って、この研究テーマを軸にした研究が進められた。とりわけ平成29年度には、「私っていいな! つながるひろがるアート響・同・体」のテーマのもと、佐久での全造連大会が開催されたことは記憶に新しい。

私たちの研究の中心には常に子どもがいる。子どもが主役の研究である。これまでの大会テーマが「心おどらせて」や「いのちにふれる」「私っていいな」などのように、子どもを主語にしたものであることから、長野県の美術教育が大切にしてきたことを読み取ることができる。

図画工作科・美術科は、楽しく活動や制作、鑑賞をしながら、自分自身のもっている感性や創造的な思考を發揮し、自分らしく表現する喜びを味わうことのできる教科である。子どもの学びをとらえると、つくり出される形や色などから新たな発想や技能を生み出し、互いのよさや工夫点を語り対話する中で、自分の表現や鑑賞の活動に浸り混み、その中で自信が生まれ、自己肯定感を感じる姿が見られる。

「つくり出す形・色」「ひびき合う感性」、これらの資質・能力を存分に發揮し、「私っていいね!」と実感できる姿が、どの子にも見られることを願っている。「私っていいね!」をキーワードにして、子どもたちに「今日の図工では、いくつ、いいねマークができましたか」と投げかけたり、明日の授業はこの子にとって「いいね!」が感じられる授業になるだろうかと考えたりすることで、目指す授業づくりにつなげていきたい。

また、私たちは、これまでの研究を進める中で、美術教育が一人一人の子どもの可能性を引き出し、子どもたちの「生きる力」を育む役割は大きいという実感を得てきた。学習指導要領では「生活や社会の中の美術や美術文化などと豊かに関わる資質・能力」を一層重視していることから、子どもたちが、今現在、取り囲む環境に積極的に関わり、「今を生きる」なかで、友のよさにも触れながら、自己肯定感をもって生きる力を育ててほしいと願っている。

多くの先生方とともに、このような願いと考えに基づいた実践を積み重ね、すべての教室の図画工作・美術の授業を充実させ、子どもたちに無限の可能性と希望を与えたい。本会の活動が、テーマを目指して展開され、美術教育によって、子どもたちの未来がさらに輝くものになることを願い、全県研究テーマ「私っていいね! ~つくり出す形・色、ひびき合う感性、今を生きる私たち~」を設定した。

第77回長野県美術教育研究大会 中信ブロック大会によせて

中信ブロック大会長 倉澤 啓 (木曾町立三岳小学校)



本年度、11月10日に中信ブロック大会を開催します。昨年度の大会も北信ブロックとしての大会ではありましたが、全造連の大会ということでしたので実質的に本年度の大会がブロックとしての第1回大会になってくると思っています。

ブロックで開催とすることになったのは、美術の免許を持った教員の減少を含めて会員数の減少も一因と思います。ブロックとすることで人数は増えるものの、広範囲から集まってきて準備を進めていく必要もあり、今まで各支部で行っていたような大会をしていくのはなかなか大変なのではないかと考えました。また、ブロックは全部で4つですので、毎年行うとすると4年に一度開催地が回ってくることになります。そうすると、開催地にとってできるだけ負担の少ない大会にしていく必要もあるだろうと考えました。そんな思いから、今大会の基本コンセプトとしてコンパクトに、持続可能な大会としていくことを目指していこうということになりました。そのため、午後のみで開催として、講演会や全体会、レセプションは行わず、小中各1校で授業公開と授業研究を行い、小学校では図工の実践発表を、中学校では美術の実践発表を行います。また各会場では県選抜展の作品展示と教材等の売店ブースを予定しています。

さらに、今回意識していることのもう一つは「ブロック」としての大会にしていくということです。初のブロックですので、どうしても今までの「支部」としての感覚が抜けられない面があります。そのようなところをどのように「ブロック」としての大会にしていくかということで、オンラインも活用したりしながら知恵を出し合って進めています。授業校など大会の中心となる郡市は以前からの支部持ち回り順ということですので、木曾・塩筑が中心となり、研究、会場などに

ついては支部ごとに分担を割り振って進めていくことにしています。皆で知恵を出し合いながら少しずつ形になってきている本大会です。運営の方法についても少しでもこれから先につながる大会となればと思っています。

大会の運営について話をしてきましたが、要は何といっても授業だと思います。今大会はテーマに「自ら発見し、自ら決める図工美術」を掲げています。大会テーマとして、当たり前すぎないかというご意見もあるかと思いますが、しかし、この当たり前のことが日々の授業の中で本当に実現できているのでしょうか。改めて「子ども自身が主体的に学びをつくらせているか」という視点に立って日々の授業を見直してみたいと思うのです。小学校では子ども自らが見通しをもつことを大切にしながら、教科書の題材で行います。中学校では、一人一人が主題をどのようにもち表していくかを大切にしながら、身近な材料を用いて行います。どちらも背伸びをすることなく、日常の授業を見直していきたいという思いから出発して取り組んでいます。

子ども自身が発見するために、子ども自身が決めるために何が必要なのか、どんなことをしていったらいいのか、授業・実践発表を通して参会の皆で考え合いたいと思います。そして、そのことが先生方お一人お一人の明日からのエネルギーになり、目の前の子どもたちの笑顔につながっていったら何よりうれしいと思っています。今大会では、進捗状況を県美のホームページなどでもお伝えできればと計画しているところです。是非ご覧いただき、当日を楽しみにしててください。多くの皆さんと塩尻の地ですてきな時間を共有したいと思います。ご参会お待ちしております。

大会運営にあたって手探りで進めていることも多く、皆様の期待に充分お応えできない面も出てこようかと思うのですが、率直にご意見をいただきつつ進めてまいりたいと思います。ご協力いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

令和5年度 長野県美術教育研究会事業計画

1 第77回長野県美術教育研究大会 中信ブロック大会

- ・期 日 令和5年11月10日(金)
- ・公開授業・授業研究会場
塩尻市立塩尻西小学校【授業者：濱 敦 先生】
塩尻市立丘中学校 【授業者：上條達矢 先生】

2 第74回長野県児童生徒美術展の開催

【実施計画案参照】

3 会報の発行(年2回)

- (1) 7月「第118号」本会事務局編集
 - ・新旧会長挨拶 ・本会事業計画 ・本年度の研究の方向 ・県大会一次案内
 - ・会員名簿 ・本会支部役員名簿 ・支部活動会員の声実践等
- (2) 2月「第119号」大会事務局編集 県大会まとめを記載し、代議員を通して会員に配付

4 夏期実技研修絵画講座

- ・講師：上田秀洋先生(信州大学名誉教授)
- ・期日：7月31日(月)・8月1日(火)・2日(水)
- ・場所：信濃教育会館
- ・主催：長野県美術教育研究会 信濃教育会
- ・担当：今井順也 齊藤澄人 久保田一夫 長崎至宏

5 会員募集と名簿の作成

- ・会員名簿は、会報「第118号」の綴じ込みで支部役員なども合わせて掲載。
- ・本会は、単なる同好会ではなく児童生徒美術展の審査及び展覧会の開催等で直接児童生徒につながっている。更に、毎年全県的な視野で研究大会を行い、指導研究を積み重ねてきている。
- ・役員連絡網の作成

6 研究推進委員会

- (1) 第76回長野県美術教育研究大会「中信ブロック大会」に向けて
本会研究推進委員と更埴大会研究部及び授業研究係、授業者で連絡を取りながら進める。
事前・本番研究授業、研究の成果と課題の明確化等、校種別担当者を中心に事前研究会に参加し、研究面での援助。
- (2) 第1回研究推進委員会 5月20日(土) ハイブリッド会議
6月～7月 事前研究授業・授業研究会への参加
第2回 〃 7月22日(土) ハイブリッド会議
第3回 〃 1月20日(土) 中信ブロック大会総括
南信ブロック大会について
- (3) 東京都図画工作研究会・長野県美術教育研究会合同研修会
・期日 令和6年 2月3日(土) ※予定
・場所 (長野県) 長野市立城山小学校

7 代議員会及び支部長会の開催予定

- ・4月30日(日) …本年度の事業計画、役員等の確認
- ・3月2日(土) …本年度の活動のまとめ等

8 ホームページの充実と活用

- ・県内の会員の活動や児童生徒作品の紹介をはじめ内容を充実させる。
- ・要項のダウンロードも可能になり、郵送にかかわる業務や費用も削減できる。
※各支部の印刷費は事務局で補償する。
- ・県外美術教育団体との情報交換の場として長野県美術教育研究会事業及び研究を全国に発信する機会とする。

9 県外各大会・研修会・研究会への参加とその呼びかけ

第62回関東甲信越静地区造形教育連合研究大会・埼玉大会【11月17日(金)】
ハイブリッド開催(現地及びオンライン) 参加者…県美研役員、県美研事務局 他

令和5年度研究推進委員会運営計画

研究推進委員会事務局 長崎至宏 塚田香織

1 運営の方向

- (1) 研究推進委員会の研究の成果と課題を踏まえ、研究大会が深まるように支部の研究部を支援する。
- (2) 研究の経過や内容、成果、課題などが各支部の会員はもとより、各校の図画工作美術教育につながるようにする。
- (3) 全国造形教育連盟や関東甲信越静地区造形教育連合等の研究構想を受け、本県図画工作美術教育の研究の方向をより具体化していく。
- (4) 長野県美術教育研究会77年間（1946年発足）に及ぶ研究、実践等を総括する中で、次期教育課程編成と10年、20年先を見通した本県図画工作美術教育のあり方を追究していく。
- (5) 全県研究テーマのもと、各支部の研究がさらに充実していくための環境を整える。

2 運営の具体化

- (1) 支部の研究から学び、支部の研究を支援する。
 - ・事前研究授業、授業研究会に参加し、支部研究部、授業校、授業者を支援する。
 - ・大会当日の研究授業、授業研究会に参加し、支部研究部、授業校、授業者を支援する。
 - ・前年度までの研究の成果と課題を把握した上で、研究の方向を決めだす。
- (2) 研究推進委員会の研究を各会員や各校に発信していく。
 - ・各支部の研究や教育課程研究協議会での研究の集積を行う。
 - ・各支部の研究の状況を把握していく。
- (3) 全国造形教育連盟や関東甲信越静地区造形教育連合等の研究部との連携を深めていく。
 - ・合同研究会等を設けより広い視点から美術教育のあり方を追究していく。
- (4) 長野県美術教育研究会の研究・実践から図画工作美術教育の意義・あり方を見つめ返す。
 - ・研究推進委員会時、本県美術教育との関わり等が深い講師を招き研修の場を設けていく。
- (5) 全県研究テーマと大会支部研究テーマの整合性の確認
 - ・全県研究テーマの具現に向け支部の研究を支援していく。

3 組織について

- (1) 本年度の組織
 - ◎委員長 赤羽勲夫（松川中）
 - 副委員長 黒岩徳治（豊田中） 長谷川功（若穂中）
- (2) 先生方へのお願い
 - ① 「第77回 長野県美術教育研究大会 中信ブロック大会」【11月10日（金）】に向け、全県を挙げて中信ブロック各支部に協力していく。
 - ② 中信ブロック大会の授業者は、中信ブロック大会事務局、司会者、助言者、世話係、各支部研究推進委員等の先生方と連絡を取り合いながら、研究・授業の準備等を進めていく。
 - ③ 中信ブロック大会事務局の研究部の委員は、授業者の支援を行う。
 - ④ 司会者、助言者、世話係は、授業者はもちろんのこと、中信ブロック大会事務局研究部への支援を随時行っていく。
 - ⑤ 世話係、各支部研究推進委員の先生方は、事前授業や県大会当日の授業の参観および、3回の研究推進委員会への参加を行い、記録を作成する。
 - ⑥ 授業を通して、成果と課題を明らかにし、これからの図画工作美術教育の方向を示すことができるように互いに研究を深めていく。

4 推進日程（年間計画）

5月20日（土） 第一回研究推進委員会 参集およびZoomによるハイブリッド会議
【14：00～16：30】

出席：小委員、支部研究推進委員、研究推進委員会事務局
中信ブロック大会研究部研究推進委員長、同各部長
中信ブロック大会事務局長、授業者、県事務局

- ・ 全県研究テーマの具現に向けて
- ・ 中信ブロック大会の研究の方向を確認・検討
- ・ 研究推進委員会の活動内容について
- ・ 事前研究授業等について（ブレイクアウトルームにて各部会ごと検討）
- ・ 担当校、事前授業参加及び記録作成の分担

準備：各校の年間予定表、連絡用のメールアドレス（全員）

研究計画及び研究構想、授業校グランドデザイン・学級及び教科経営案

6月～7月 事前研究授業・授業研究会への参加

出席：担当小委員、支部研究推進委員、研究推進委員会事務局
中信ブロック大会事務局、県事務局

7月22日（土） 第二回研究推進委員会 参集およびZoomによるハイブリッド会議
【9：30～12：00】

出席：小委員、支部研究推進委員、研究推進委員会事務局
中信ブロック大会研究部研究推進委員長、同各部長
中信ブロック大会事務局、授業者、県事務局

- ・ 事前授業のまとめと大会当日の打ち合わせ 等

準備：事前授業の成果と課題（支部研究推進委員・中信ブロック大会事務局）
一斉メールにて事前配布

11月10日（金） 「第77回 長野県美術教育研究大会 中信ブロック大会」

中信ブロック大会事務局の計画に沿って決定

1月20日（土） 第三回研究推進委員会 参集およびZoomによるハイブリッド会議
【9：30～12：00】

出席：小委員、支部研究推進委員、研究推進委員会事務局
中信ブロック大会研究部研究推進委員長、同各部長
中信ブロック大会事務局、授業者、県事務局

- ・ 本年度の研究の成果と課題をもって来年度の方向を検討する。

準備：研究のまとめの原案（中信ブロック）大会授業の成果と課題（支部研究推進委員）
一斉メールにて事前配布

2月3日（土）予定 東京都図画工作研究会（東図研）との合同研修会（会場：長野県）
発表者：中信ブロック大会より若干名

5 その他

- (1) 各係は連絡を取り合いながら打ち合わせを適宜行い、共通理解をもって研究を進める。
連絡はできるだけ、メールを使用する（第一回研究推進委員会の折に報告）。
- (2) 研究会には可能な限り参与・OB会の先生方にもご出席いただきご指導をいただく。
- (3) 不明な点は下記事務局まで問い合わせる。

連絡先：研究推進委員会事務局 事務局長 長崎 至宏（長野市立古里小学校）

住 所 〒381-0007 長野県長野市金箱439-2 TEL：026-296-4298 FAX：026-296-4299

第77回長野県美術教育研究大会

中信ブロック大会のご案内 (一次案内)



〈全県研究テーマ〉 「私っていいね! ~作り出す形・色 響きあう感性 今を生きる私たち」

〈中信ブロック大会テーマ〉 「自ら発見し、自ら決める図工・美術」

1 期 日 令和5年11月10日 (金)

2 会 場 小学校部：塩尻市立塩尻西小学校 4学年 公開授業・授業研究・事例発表
中学校部：塩尻市立丘中学校 2学年 公開授業・授業研究・事例発表

3 授業会場、授業者、指導者

校種	授業会場	学年	題材	授業者	指導者
小学校	塩尻市立塩尻西小学校	4年	「ようこそ!ゆめのまちへ」(立体)	濱 敦 教諭	中信教育事務所指導主事 北澤 公浩 先生
中学校	塩尻市立丘中学校	2年	アル me マル (彫刻)	上條 達矢 教諭	総合教育センター専門主事 城本 重慶 先生

4 大会日程

内容	受付	授業公開	開会式	研究会	実践発表 ポスターセッション	閉会式	連絡会
時間	13:00~ 13:15	13:35~ 14:25	14:40~	15:00~ 15:40	15:50~16:20	16:30~ 16:45	

※会場の移動は行いません。各会場で、業者による教材・図書類の出典・販売があります。

5 テーマ・研究内容の基本方針

- ・授業の中で、自分で「発見して」「決めていく」場面を大切にしていきます
- ・教科書の題材を大切に扱い、日々の授業の延長としての実践研究発表をめざします
- ・児童生徒の思いを引き出し、繋げていくためのICTの効果的な活用をめざします

6 公開授業のみどころ

塩尻市立塩尻西小学校 題材名 「ようこそ!ゆめのまちへ」(立体)

事前研究授業では、教科書題材の「クミクミックス〜切って、組んで、つくろう〜」で、段ボールに切り込みを入れて組み合わせていく造形遊びに取り組みました。組み合わせ方を自分で工夫して見つけていく姿が随所にみられ、子ども達の発想力に驚かされました。11月の授業「ようこそ、夢のまちへ」でのダンボールを素材として使う子ども達の活動にご期待下さい



塩尻市立丘中学校 題材名 アル me マル ~私を動物に投影させて~ (彫刻)

力強く今を生きる中学2年生一人ひとりが、自分自身を動物に投影させ、今抱えている思い(夢や希望)を個性豊かな動物固有のフォルムや体の動きなどに置き換えて表現していきます。

事前研究授業では、発想や制作のアイデアが書かれたマインドマップを手がかりにして、教師の問い返しや仲間との関わりの中で、主題を明確にして制作に取り組みました。また目的に応じて技術的な試作ができるブースを設けました。県大会では、アルミホイルを素材にして、生徒思い思いの造形活動がみられると思います。ご期待下さい。



会員の声・私の実践

コロナ禍におけるリモート授業の実践 ～コマ撮りアニメに挑戦！～

佐久支部 軽井沢町立軽井沢中学校 臼田 裕太

一昨年度末、コロナ禍の影響で3週間程休校し、リモート授業を余儀なくされた時期があった。美術科としてどう学習の場を提供できるのか検討していく中でこの状況はタブレット端末を用いた作品の制作の可能性を広げるための良い機会だと考えた。日本文教出版が提供している「KOMA KOMA」というwebアプリを用いたコマ撮りアニメの制作である。

実践の概要 題材名「コマ撮りアニメに挑戦！」全3時間

ねらい

アニメーション作りを通して、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、創造的につくったり表したりする力を培う。

Google Classroom及びGoogle Meetに接続して、今回の制作の説明とやり方について説明を行い、質問を受け付けたり画面共有で「KOMA KOMA」の使い方について示範したりして、子どもたちがそれぞれ各家庭の中でも活動がスムーズに行えるようにした。また、完成した作品もClassroomに提出させ、授業の最後にはお互いが作った作品を鑑賞しあえる環境を作った。

(1)表現主題について

今回の制作は、リモート授業期間中の短期題材として行ったため、それぞれ表現主題を設定して制作に取り組むまでの時間がなかった。そのため、「アニメーションに使うアイテムが“こう動いたら・こう変化したら”面白いアニメーションになりそう」ということを、作品を考える際の軸として考えるように促した。

(2)各時間のごとの振り返りについて

今回の制作は各自が自宅で行っているため、制作の様子を教師が把握できない。そのため、振り返りを大事に考え、どんな工夫をしたのか、上手くいった／難しさを感じたのはどんなところなのかをていねいに書かせ、ミライシードを通して提出させた。家での制作の時間に、子どもたちがどう試行錯誤したのかを教師が少しでも具体的に把握できるようにすることが、リモート授業を行う際に美術科が最も大切にすべき点のひとつだと感じたからだ。

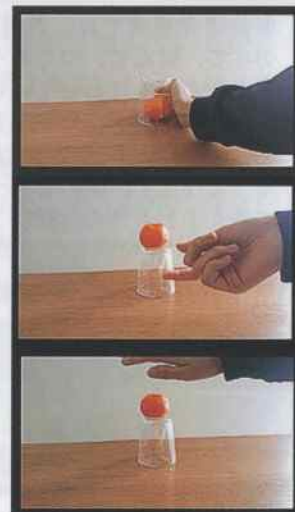
成果と課題

(1)成果

今回の制作は、自宅で行ったからこそ生まれた作品が多くあった。フィギュアやぬいぐるみを使ったもの、リンゴが徐々に食べられていって最後は芯だけになるものなど、学校の授業では扱わずらいものを作品に取り入れているものがあり、子どもたち同士の鑑賞におけるリアクションも良かった。また、凝りたい子どもたちは授業時間以外にも作品作りを進めている様子があり、自粛期間を学習時間へ有効に活用できたと感じる。

(2)課題

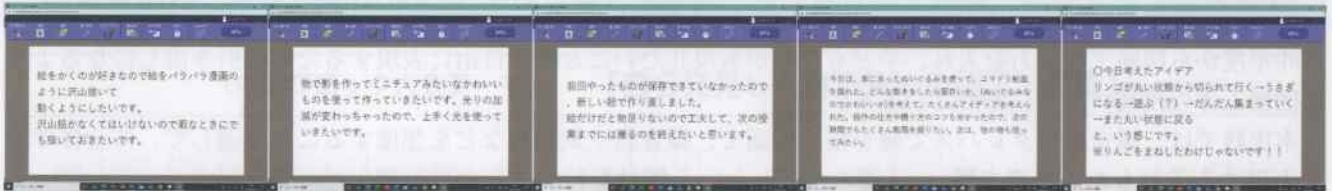
前述したように、振り返りで学習の歩みを可視化できるようにはしたが、制作に取り組んでいる様子が見えないと正当な評価をするための材料に乏しくなる。今回のリモート授業は休校中の学習保障のための応急的処置であり、評価は行わなかつ



みかんが手の動きに合わせて↑
コップを通り抜ける手品風の作品

だが、もし休校期間が長引くなどしてリモート授業で評価しなければならなくなった場合には、制作の歩みをより可視化するための手立てが必要だと感じる。

資料 リモート授業 子どもたちの振り返り (ミライシードで提出)



菱田春草『菊慈童』の表現の意図とは？
—飯田市美術博物館との鑑賞授業の実践—

下伊那支部 竜峡中学校 百瀬 雅也

飯田市美術博物館と連携して、中学校 1 学年を対象に鑑賞題材「菱田春草『菊慈童』の表現の意図とは？」を行いました。本校ではキャリア教育の一環として、1 学年で「ふるさと学習」を行っています。中学校区をはじめとし、飯田・下伊那地域について様々な体験、調査活動を通して学びを深めます。美術科では、飯田市出身の日本画家 菱田春草の『菊慈童』を鑑賞することを通して地域の美術文化に触れたり鑑賞の見方や感じ方を広げたりする学習を計画しました。

学芸員の先生との打ち合わせは電話とメールで行い、「鑑賞の視点」を確認して指導案を作成しました。

まず授業前に、短時間の鑑賞『2分前鑑賞』を行い『菊慈童』を鑑賞しました。次に「景色の描写の大きさ」に対し「人物の小ささ」を表す「構図」を視点に、人物の心情について読み取っている生徒の考えを取り上げ、学習問題「春草は『菊慈童』をどのような工夫をして描いたのだろうか？」を設定しました。その後、学芸員の先生から『菊慈童』の背景をまず聞き、その後春草の他作品を用いて「朦朧体」で「空気・空間」や「奥行き」を見せていると、解説をいただきました。そして解説を受けて、学習課題「表現の工夫が見られる部分に付箋を貼り、表現のポイントで分類分けして意図を探ろう」を据えました。学習活動では、解説をもとに、Google Jamboardに「空気・空間」や「奥行き」の工夫点を記述し、色使いや構図などの造形の要素ごとに分類する活動を行いました（下写真は生徒 3 名の記述内容。作品部分は著作権のため白抜き）。

『2分前鑑賞』で、作品全体のイメージや作品に描かれているものから『菊慈童』の物語を考えていた生徒が、解説の視点をもって、もう一度鑑賞することで、感じたイメージの根拠となる造形要素に気づいたり「朦朧体」の表現の特徴を理解したりと鑑賞の見方や感じ方を広げる生徒の姿がありました。今後も飯田市美術博物館と連携した授業を構想中です。



からだ全体で「線のたび」

諏訪支部 岡谷市立川岸小学校 久田ひかり

昨年度から図画工作に力を入れ、子どもたちが表現したいことを、自由に表現するための引き出しになるような図画工作の授業づくりに努めています。

本実践では、模造紙にクレパスで線を描く場面で、擬音語や気持ちなどを想像することを通して、体全体で線表現する子どもたちの姿を願い、「線のたび」という題材を行いました。前時に行った、百色の色紙から自分らしい色を選んで貼る活動（「色の国」）から、子どもたちは色の良さや違いについて興味を持ちはじめ、線の重なりから生まれる色や、線の強弱による印象の違いを感じるきっかけにしたいと考えていました。

活動①【紙との出会い】では、子どもたちは教室の床が全部かくれるほどの大きな紙に出会い、すぐに寝転がり始めます。「先生が貼り合わせてくれた紙はあったかい」と体全体で模造紙とふれあっていました。



活動②【クレパスで線を描く】では、擬音語や気持ちを表す言葉を取り上げ、声に出したり、想像したりしながら、紙に線を描きました。「びゅーん」と走りながら勢いよく線を描いたり、「ゴーッ」と力強く線を描いたりする子どもの姿がありました。

活動③【紙をちぎる】では、みんなで描いた紙をちぎりました。「こんなに大きな紙破いたことがない」と、破れるときの音や感覚を楽しみました。

活動④【欠片との出会い】では、小さくちぎった紙の欠片とふれあい、自分のお気に入りの欠片を見つけ、集めた紙は黒い画用紙に貼り集めました。「線が重なって新しい色ができている」「爽やかな色の欠片がすきだな」など、それぞれに欠片と向き合っていました。

その後の図工の授業では、「ふわふわにしたいからやさしく描こう」「強そうにしたから力を入れよう」などの姿があり、「線のたび」を通して、子どもたちは道具や描くことに慣れ親しみ、色や線の感覚が豊かになったのではないかと思います。



『身の回りにある美しいものを描く』

中野・下高井支部 木島平中学校 横山采佳

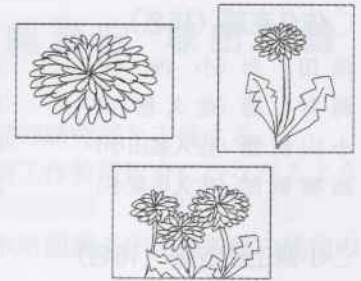
信州大学を卒業して3年目、今年度新規採用として木島平中学校に赴任した。これは今取り組んでいる授業の様子である。入学してはじめて美術の授業を受ける1年生は、小学校では図画工作と呼ばれていたのに対し美術という教科に変化したことに興味を示した。美術の授業のイメージを問うと生徒は、「絵が上手く描けないといけない気がして、難しそう。」と不安を抱きながら答えてくれた。そのような生徒と共に「美」とはなにか考える時間を設けた。生徒は「宝石」や「きらきらしたもの」「歌声」等様々なものをあげた。そんな中、自分たちの身の回りにも美しさがあるのではないかと生徒の気付きから、身の回りにある美しいものを探しに行こうということになった。見つけ出した美しいものを生徒に描いてみないかと問うと、「やってみたい。」という言葉が返ってきた。そこで、「身の回りの美しいものを描く」という題材を設定した。

授業づくりは日々悩みの連続です。生徒は、美しいと感じるものを見つけることができても、なぜそれを美しいか理由を考えるのに困難さを感じている生徒が複数名いた。そのような生徒に対し、美しさを感じる視点として「形の特徴」「色の特徴」「質感の特徴」「動きや状態」「思い入れ」について考えてみないかとアドバイスした。生徒は、視点ができたことにより自分だったらこれが当てはまるのではないかと考え、表したい美しさを確認し、実際に絵に表していく活動につ



屋外でスケッチしている様子

なだった。描きたいもののどの角度や様子に美しさを感じたのか、それを実際に絵に表していくにはどのような構図にしていったら美しさを表せるのか考える時間を用意した。時間を用意したものの、難しさを感じる場面があった。それは、自分が美しいと感じたものを表すために構図を工夫して考える場面である。生徒に、右図の構図の取り方を提示し、自分が感じた美しさに関わらせながら工夫していくと美しさをより表すことができると伝え活動に入った。順調に制作が進むかと思いきや、すずめの小さくてかわいいところに美しさを感じたH生が、「小さくまんまるとした形に描きたい。」と考えた。H生は、造形的な特徴と自分の考えを関わらせながら自分の作品に対し見直しをもって取り組むことができいいぞと思ったが、5cmくらいの大きさに描いている。この姿を認めたい気持ちと作品として完成した時、創造的に表していることができているとしていいのか悩んでいる。私の授業づくりは日々悩みの連続です。



提示した構図の取り方

『自分の思いを作品へ』

木曾支部 木曾町立開田小学校 手塚 幹也

本校では「自分の考えや思いをもち、学びを深める（学びを続ける）子どもの育成」という研究テーマで、図工の授業でも自分の思いを持って、製作を進めていくことを大切にしています。

6学年「すてきな明かり」では、和紙を使ったランプシェード作りに挑戦しました。製作は①風船に和紙を貼る⇒②乾かす⇒③中の風船を割って取り出すという手順で行いました。



(画像1)



(画像2)



(画像3)



(画像4)

導入場面では、様々なランプシェードの作品を見た後に、和紙にLEDライトをかざし光の透け具合を鑑賞しながらどのようなランプシェードを作りたいか考えました。その中で児童Aは「季節をいつでも感じられるランプシェードにしたい」という思いを持ちました。表裏2面ずつの4分割にし、それぞれの場所に四季をイメージしながら製作を進めていきました。(画像1, 2)「春・冬」を表現する場面では、同じ色でも、素材の違う2つの和紙を組み合わせ、光が当たった際に花びらや雪の結晶の形が浮かび上がる様に工夫していました。(画像1, 3)「秋」を表現する場面では、実際に外へ落ち葉を拾いに行き、実物の葉っぱを張り付けていました。(画像2)授業の鑑賞の場面では、天井に映っている影の形にも着目している姿も見られました。(画像4)

自分の「思い」を持って表現していくことが、より作品に愛着を持ち、何度も試行錯誤しながら様々に工夫しようとする様子につながっていくと感じました。「思い」に焦点を当ててさらに研究を進めていきたいと思っています。



(他の児童の作品)

令和5年度 長野県美術教育研究会会員名簿

6月末日現在 267名

○佐久支部 (16名)

池田 崇 (小海小)	志摩宏道 (佐久平浅間小)	赤羽雄太 (小海中)	白田裕太 (軽井沢中)
岡村 聡 (佐久穂小)	井出尚宏 (坂の上小)	山岸美香子 (佐久穂中)	横尾 旭 (御代田中)
小山俊樹 (佐久城山小)	柄澤美帆 (立科小)	高木明日翔 (白田中)	岩恵美子 (小諸養護)
高橋敏郎 (佐久市東小)	武井美香 (南牧中)	早川 栄 (中込中)	長岡香里 (野沢中)

○小県上田支部 (16名)

宮下 聡 (和 小)	柳沢奈美 (田中 小)	斎藤 史 (南 小)	今井雅人 (依田窪南部中)
阿部 哲 (塩川小)	藪 恭子 (丸子北小)	木村元昭 (西 小)	佐藤智恵子 (第一中)
千原 厚 (豊殿小)	吉越孝喜 (城下小)	深町さや香 (東部中)	田中志保 (第二中)
小井土恒 (田中 小)	金井典子 (南 小)	大工原智之 (真田中)	北崎知葉 (塩田中)

○更埴支部 (7名)

瀧澤功一 (広徳中)	藤田 望 (埴生中)	中平紀子 (屋代中)	山野井美葉 (稲荷山養護)
清水あさぎ (戸倉上山田中)	沖 美鈴 (屋代中)	堀内美紀 (坂城中)	

○上高井支部 (9名)

永井文章 (小布施中)	鈴木真宏 (日滝小)	原田奈実 (高山中)
中澤 光 (高山小)	上野造成 (小山小)	越野智夫 (井上小)
高木映子 (墨坂中)	小林浩代 (須坂支援)	小林奈津子 (東 中)

○中野・下高井支部 (9名)

黒岩徳治 (豊田中)	佐藤和夫 (南宮中)	宇敷慶一 (中野平中)
武居和紀 (木島平中)	川橋豊司 (豊田中)	城本真琴 (山ノ内中)
吉越洋一 (野沢温泉中)	田中一成 (豊田小)	横山采佳 (木島平中)

○飯水支部 (4名)

高山顕光 (木島小)	青木勇治 (城南中)	穂苺みずき (城北中)	大日方星子 (飯山養護)
------------	------------	-------------	--------------

○長野上水内支部 (41名)

徳高博樹 (城山小)	久郷佳恵 (川中島小)	太田弥奈子 (犀陵中)	村松哲史 (戸隠中)
西澤しのぶ (山王小)	宮尾賢一 (柳町中)	若松洋幸 (松代中)	野田俊司 (信州新町中)
村上真由美 (大豆島小)	清水早知子 (櫻ヶ岡中)	藤本信彦 (若穂中)	小林浩一 (小川中)
塚田 廣 (柳原小)	宮本道雄 (東部中)	長谷川功 (若穂中)	吉田昌司 (飯綱中)
越 絢乃 (柳原小)	藤森由美子 (東部中)	青木香織 (川中島中)	常田浩二 (付属長野中)
藤澤由紀子 (長沼小)	坂井大輝 (三陽中)	古河礼子 (川中島中)	原山裕司 (長野ろう)
長崎至宏 (古里小)	栗林収一 (三陽中)	箕田美千子 (更北中)	宮本郁子 (若槻養護)
奈良本雅丈 (通明小)	小林晴雄 (東北中)	久保田充徳 (広徳中)	駒津千大 (若槻養護)
所 澄夫 (東条小)	横野遼太郎 (北部中)	森 崇 (広徳中)	
青木達広 (保科小)	塚田香織 (裾花中)	畑 幸子 (七二会中)	
正木亜由子 (川中島小)	粟津原美穂 (犀陵中)	久保田芳 (豊野中)	

○木曾支部 (7名)

倉澤 啓 (三岳小)	手塚幹也 (開田小)	小林 純 (大桑小)	猪俣 彬 (木祖中)
中村美和子 (木曾養護)	中田裕子 (開田小)	兼橋慶一 (大桑小)	

○東筑摩塩尻支部 (10名)

黒田敏樹(朝日小)	北村知香(片丘小)	上條達矢(丘中)	徳竹夏生(聖南中・筑北中)
濱 敦(塩尻西小)	原由紀子(生坂小)	唐澤紀佳(広陵中)	
町田恵美(桔梗小)	米山隆美(塩尻中)	川船 賢(生坂中)	

○安曇野市支部 (12名)

沓掛 隆(三郷中)	太田高利(穂高東中)	中村 実(豊科南中)	西澤 明(穂高東中)
三澤理彦(穂高北小)	滝澤奈桜(穂高西中)	渡邊香苗(堀金中)	下山真澄(明南小)
前川朋子(穂高南小)	長尾小百合(豊科北中)	矢野口靖(三郷中)	佐藤美美(明南小)

○北安曇支部 (11名)

山田 忍(松川小)	志水宏靖(美麻小中)	赤羽勲夫(松川中)	和田 潤(大町中)
犬飼隆博(小谷小)	小出晋平(大町南小)	平林伸一(松川中)	望月薫夫(安曇養護)
山本雅也(八坂小中)	篠田道恵(高瀬中)	大久保怜香(白馬中)	

○松本市支部 (47名)

木村令子(田川小)	宮下晴雄(菅野中)	常盤明子(旭町小)	石本ゆう子(松本国際中)
梅田久仁(菅野小)	小松雄三(山辺中)	平本奈美子(島立小)	麻和正志(梓川小)
赤羽洋一郎(芳川小)	末益奈緒美(鉢盛中)	村山茂樹(山辺小)	大木紀子(梓川小)
武田敦子(本郷小)	濱 祥子(鎌田中)	沼田正博(鎌田小)	佐藤恵理(梓川小)
上條雪絵(清水中)	岡村美紀(松島中)	柳澤喜代子(筑摩小)	岡村亜紀(梓川小)
幸西 藍(梓川中)	西牧理代(開成中)	田多井留美(松本ろう)	今井美保(梓川小)
野村 仁(梓川小)	久保田一夫(信明中)	今井順也(寿台養護)	中村三都里(梓川小)
押澤利満(清水中)	横山文香(波田中)	松澤由起子(松本養護)	小嶋貴子(梓川小)
高野菊丸(明善中)	白井奈帆(会田中)	前所優介(付属松本中)	宮尾八千代(松ろうキャンパス)
宮本汐莉(旭町中)	小松直美(丸ノ内中)	赤井裕美(付属松本小)	岩垂なつき(アカデミア館)
小林 肇(女鳥羽中)	小林かなえ(筑摩野中)	竹内和俊(才教学園小中)	中澤 聡(松本市美術館)
村石 靖(高綱中)	太田綾子(島内小)	新保倫子(才教学園小中)	

○諏訪支部 (25名)

宮坂哲生(北山小)	鈴木達也(小井川小)	勝野美幸(宮川小)	川口海斗(富士見中)
柄澤武志(小井川小)	高木 克(下諏訪北小)	平出正志(玉川小)	細川美緒(諏訪養護)
小林一博(宮川小)	椎名陽子(岡谷東部中)	濱 智野(永明小)	水野知恵(諏訪養護)
海沼峰華(川岸小)	丸山大星(岡谷南部中)	若林 翼(東部中)	篠原佳代(諏訪養護)
小原由紀夫(川岸小)	小坂浩男(下諏訪中)	中山直子(北部中)	
久田ひかり(川岸小)	後町智明(下諏訪社中)	高橋伊智郎(永明中)	
大西宣晴(長地小)	川上圭子(上諏訪中)	星野こず恵(本郷小)	

○上伊那支部 (22名)

山崎重幸(南箕輪小)	柄澤克彦(西春近北小)	加藤博美(西箕輪中)	小山美香子(駒ヶ根東中)
鹿野耕平(南箕輪小)	西村由紀子(西春近北小)	岩原 学(春富中)	唐澤優佳(飯島中)
橋爪健太郎(南箕輪小)	田中寛美(赤穂小)	野溝文子(長谷中)	大槻拓子(伊那養護)
鈴木智春(西箕輪小)	日達俊喜(辰野中)	小林健太郎(高遠中)	堀内由加里(伊那養護)
依田裕巳(富県小)	田中 仁(箕輪中)	金子 委(宮田中)	
有賀 弘(西春近北小)	飯島隆志(南箕輪中)	高坂 彩(赤穂中)	

○下伊那支部 (31名)

木下 武(大下条小)	保科公幸(天竜中)	米山友葵(高陵中)	藤木 舞(緑ヶ丘中)
玉置研介(阿智中)	坂倉正人(竜東中)	水野恭子(松川中)	世古口尚己(緑ヶ丘中)
小池 剛(阿南第二中)	森山 綾(高陵中)	北澤康孝(緑ヶ丘中)	久保田哲司(飯田西中)

小島敬介(旭ヶ丘中)	百瀬雅也(竜峡中)	矢澤育子(伊賀良小)	築島由美(丸山小)
藤澤菜央(旭ヶ丘中)	山内孝一(阿南第一中)	権田美和子(伊賀良小)	内田美咲(下條小)
塩澤俊治(高森中)	宮島純子(泰阜中)	加山雅康(阿智第一小)	臼井亮輔(松川北小)
小田彩佳(豊丘中)	服部淳之介(松川中央小)	下平怜那(座光寺小)	羽生京子(喬木中)
竹原博紀(鼎中)	村澤由笛(伊賀良小)	北沢孝太郎(龍江小)	

令和5年度 支部長・支部代議員・支部研究推進委員

ブロック	支部名	支部長	支部代議員(◎ブロック代表)	支部研究推進委員
東信	佐久	小山俊樹(佐久城山小)	井出尚宏(坂の上小)	白田裕太(軽井沢中)
	小県上田	宮下 聡(和 <small>小</small>)	金井典子(南 <small>小</small>)	木村元昭(西 <small>小</small>)
	更埴	瀧澤功一(更埴西中)	瀧澤功一(更埴西中)	中平紀子(屋代中)
北信	上高井	中澤 光(高山小)	中澤 光(高山小)	原田奈美(高山中)
	中野・下高井	武居和紀(木島平中)	宇敷慶一(中野平中)	城本真琴(山ノ内中)
	飯山下水内	高山顕光(木島小)	高山顕光(木島小)	穂苅みずき(城北中)
	長野上水内	小林浩一(小川中)	坂井大輝(三陽中)	塚田香織(裾花中)
中信	木曾	倉澤 啓(三岳小)	中村美和子(木曾養護)	なし
	東筑摩塩尻	黒田敏樹(朝日小)	川船 賢(生坂中)	北村知香(片丘小)
	安曇野市	沓掛 隆(三郷中)	中村 実(豊科南中)	渡邊香苗(堀金中)
	北安曇	赤羽勲夫(松川中)	犬飼隆博(小谷小)	志水宏靖(美麻小中)
	松本	木村令子(田川小)	幸西 藍(梓川中)	押澤利満(清水中)
南信	諏訪	宮坂哲生(北山小)	平出正志(玉川小)	柄澤武志(小井川小)
	上伊那	山崎重幸(南箕輪小)	岩原 学(春富中)	鹿野耕平(南箕輪小)
	下伊那	木下 武(大下条小)	百瀬雅也(竜峡中)	北澤康孝(緑ヶ丘中)

【全造連】参加担当：会長 副会長 県事務局

【関東甲信越静地区】参加担当：会長 副会長 県事務局

令和5年度 長野県美術教育研究会役員 名簿

- 1 顧問 矢島正一 増尾邦治 堀金 泰 丸山庸行 小野健吉 柳澤 廣 富澤慶吉 宮坂昭吉
武田 登 青木玄雄 小林澄男 油科淳太郎 中村真樹 竹中 俊 寺島頼利 丸山陸雄
青木正治(OB会会長) 西澤 剛(OB会会計) 土屋敏行(OB会事務局長) 村松哲史(戸隠中)
- 2 会長 徳嵩博樹(城山小)
- 3 参与 橋本光明 寺島頼利(元会長)
- 4 副会長 ※長野県美術教育研究大会中信ブロック大会大会長：倉澤 啓(三岳小)
沓掛 隆(三郷中) 高山顕光(木島小) 木村令子(田川小) 宮坂哲生(北山小)
- 5 監事 黒岩徳治(豊田中) 小林浩一(小川中)
- 6 常任委員 (支部長会※別表参照 ・研究推進委員会 ・ブロック代表代議員会)
- (1)研究推進委員会 委員長 赤羽勲夫(松川中)
副委員長 黒岩徳治(豊田中) 長谷川功(若穂中)
- (2)小委員
- ①幼保部会 部会長：高山顕光(木島小)
宮坂哲生(北山小) 吉越洋一(野沢温泉中)
支部研究推進委員：木村元昭(西小) 原田奈美(高山中)
- ②小学校部会 部会長：宮下 聡(和小)
- ・小学校低学年部会 武居和紀(木島平中) 小林一博(宮川小) 志摩宏道(佐久平浅間小)
支部研究推進委員 北村知香(片丘小)
- ・小学校中学年部会 岡村 聡(佐久穂小) 柄沢武志(小井川小) 阿部 哲(塩川小) 赤羽洋一郎(芳川小)
支部研究推進委員 鹿野耕平(南箕輪小)
- ・小学校高学年部会 木村令子(田川小) 野田俊司(信州新町中) 小山俊樹(佐久城山小) 千原厚(豊殿小)
支部研究推進委員 北澤康孝(緑ヶ丘中)
- ③中学校部会 部会長：小林浩一(小川中)
西澤直樹(共和小) 梅田久仁(菅野小) 小池 剛(阿南第二中) 森 崇(広徳中)
上條雪絵(清水中)
支部研究推進委員 中平紀子(屋代中) 白田裕太(軽井沢中)
城本真琴(山ノ内中) 穂苅みずき(城北中)
- ④特別支援部会 部会長：木下 武(大下条小)
原山裕司(長野聾学校)
支部研究推進委員 押澤利満(清水中) 渡邊香苗(堀金中)
志水宏靖(美麻小中) 塚田香織(裾花中)
- ⑦高校・大学・美術館・他機関連携
今井順也(松本養護) 齊藤澄人(須坂高校)
岡田匡史(信州大学) 猪瀬昌延(信州大学) 大鳥賢一(信州大学)
- (3)県事務局
- ①事務局 事務局長 青木香織(川中島中) 副事務局長 越 絢乃(柳原小)
- ②研究推進委員会 事務局長 長崎至宏(古里小) 塚田香織(裾花中)
- ③児童生徒美術展 坂井大輝(三陽中)
- ④会報・連絡メール等作成 原山裕司(長野聾学校)
- ⑤ホームページ・情報発信 湯田 拓(湖東小) 野村 仁(梓川小)
- ⑥研修・夏期講座・他機関連携 今井順也(松本養護) 齊藤澄人(須坂高校) 久保田一夫(旭町中)
- ⑦会計・記録・発送 堀内美紀(坂城中)
- ⑧事務局顧問【前事務局長】 久保田充徳(広徳中)

御注文は

教材専門店のミレー商会へ

〒386-0014 上田市材木町1-12-7

TEL 0268 (22) 2224

FAX 0268 (22) 7311



画材・ガクブチ・デザイン用品・教材・教具

須坂教材 麒麟マチス

須坂教材長野店信大教育学部前

〒380-0871 長野市西長野2の2

TEL<026>235-0737

FAX<026>235-0738

〒382-0075 須坂市駅前ハイランド105

☎<026>245-0714 FAX<026>245-5169

お気軽に
お問い合わせ
下さい。

アート教材・用品

中学校図書教材全般

(有) 信濃教販

松本市松原49-8

TEL (0263)86-0201

FAX (0263)86-0339



長野県飯田市鼎下茶屋1026

夢をカタチに

豊かな感性を育てる

木彫・工芸・画材

有限会社 西 澤

電話(0265)23-3258

FAX(0265)23-3273



MARUMATSU

教育機器・OA機器・理科学機器・視聴覚機器・事務機

株式会社 マルマツ

本社 〒399-0007 長野県松本市石芝4-2-52

TEL(0263)25-9111(代表) FAX(0263)25-9113

OA機器・オフィス家具・製図用品・一般文具・事務用品・学校教材・画材

文具のお店 北川商事

長野県千曲市大字戸倉1950 TEL (026) 275-0172 FAX (026) 275-5089